

## 穴吹不動産流通 広島宮島街道店市況レポート(4月)

現在(2024年4月25日)の為替相場では、円安が急激に進んでおり、1ドル=155円台後半まで、価格が下がり、34年ぶりの円安ドル高水準となりました。

現在の不動産市場は、円安の影響から、建築資材の輸入コストが高くなってしまい、建築費が高騰。その点が不動産の市況にも影響し同じく高騰しています。国内から見ると、購入意欲が減退してしまうような市況ですが、海外から見ると、円安が日本の不動産を購入する大きな理由の一つとなり、お問い合わせが増加しています。金額の高い都心部の物件、郊外のお手頃な物件、ホテル、リゾートなど幅広く購入を進めており、今後も円安が継続した場合、海外投資家の進出は、より一層増加していくことが考えられます。

また、国内のお客様は金融機関からの借入を前提として購入するケースが多いですが、海外の投資家は、そのほとんどが一括の現金で購入されています。その優位も一つの要因となっています。

弊社ではお住み替えのマンションや戸建、土地のほか、事業用物件、賃収物件の取引にも注力しております。多種多様な不動産を取り扱うことで、購入者様の注目を向けるためのアピールポイントのご提案には自信があります。不動産のご相談はあなぶき不動産流通へ、ご相談ください。